インタビュー

代表取締役社長 Fortec Architects株

氏

を行う企業。しかし同社 マネジメント)、CM 計、PM(プロジェクト hitects株は、設 は設計会社でも、PMの イジメント)

などの業務 (コンストラクションマ Fortec Arc

級建築士でありながらい 役社長の大江太人氏は 主。この経歴を生かして した稀有な経歴の持ち 課題の解決』を行う。目 会社でもない。代表取締 。建設の視点から経営の -バードでMBAを取得 指すのは建設

に話を聞い いう。大江氏 ング会社だと コンサルティ 業界で唯一の

> たアセットとしてはオフ お手伝いをした。手がは

貴社の

宅、大学施設など多岐に

コンサルは珍しいです。

ータセンター、店舗、住

ィス、工場、研究所、デ

ションさせていただき、 ャリアをスタートし、そ がですかと提案する。分 を取得した。様々な経営 かりやすい事例でいう トップの方と経営課題の の後ハーバードでMBA 建設関連のお話になった 解決に向けてディスカッ 大江 設計士としてキ 建設視点で経営課題の解決 ではこうしたらいか 社ではなく、提供してい る価値は経営課題の解

する。ただ我々は設計会 わたる。 M、CMといった実務ま ドバイスから、設計、P どをするのですね。 の解決手段として設計な で広範囲にわたって支援 大江 顧問としてのア -あくまで経営課題

い、非常に勉強になった。 隈研吾さんの研究室を交 ッパークラスのマンショ 業し、竹中工務店に入社 ンなどを設計させてもら した。竹中工務店ではア 起業した経緯は。 一方で、大学は院に進ま 大江 もともと東大の ことで何か新しいサービ スができるのではと思っ いし、MBAを取得する

り、加えて建設は大きな を読める人はかなり少な いた。設計士で財務三表 営判断になると実感して 投資でもあり、大きな経 計会社を継ぐ可能性があ d Hred the d Hred th

常に役立っている。

は、今の仕事で経営トッ スカッションできたこと の会社に戻ったが、MB プの人とお話する際に非 MBA取得後、一度父

とビジネスについてディ 発注者側の責任者も総務 部長などが兼任してい 社をいつも使っているか た。そうなると「あの会 そう言っているから」と 」「大手のあの会社が

> 大江 大きなことを言 会社の方向性は。

ビスを始めるために20 Aを活かした新しいサー

不動産投資、建設の投資 明・透明性として「この できていない。しかしく 適正な品質と金額を担何 いうように慣習で進み、 は合理的である」という は投資する際、株主へ説

建設業界で唯一のコンサル会社へ

キームを提案することも 手段として自分で設計し だと思っている。解決の 決。設計などはその手段 せず設計や施工の入札ス 設計するが、自らは設計 た方がいいと判断すれば 建設視点での経営 るつもりだったが、建設 思っていた。当初、大学 外の大学院に進みたいと の世界でMBAを取って 院では建設関連を研究す なかったため、いずれ海 いる人がほぼ存在してい

善からオフィス移転まる

運用だった際、運用の改 課題が効率的な営業所の と、トップが抱えている

時、父が経営している設 ないことが分かった。当 り2年ほど働いてからハ アーキテクトは私だけで 00人ほどいるのだが、 ーバードへ入った。ハー 院で様々な業界出身の人 改めて希少性を感じた。 、 ード MB Aは 1学年 9 その後、父の会社に移

の裏付けがあまりなく、 機能性などの品質と金額 連の業務を発注する際、 sを設立した。 で課題と感じることは。

c Architect 21年7月にForte 大江 これまで建設関 ――世の中の建設業務

第三者の証明・裏付けが 重要となる。最近は外資 求められる。当社はその という裏付けはいっそろ 適正な品質や金額である えているが、そうなると 系の企業が入る案件も増 台理性を証明する第三者

外資系企業が日本のホテ ョンを取れることも強み すくなるし、実際、ある ミスコミュニケーション た上でコミュニケーショ い。直訳ではなく意訳し 取れる人はかなり少な うと、建設の専門家とし れるサービスですね。 ョンのお手伝いやPMな ることもある。当社が間 ンを取れる人はさらに少 でコミュニケーションを 特に建設業界では、英語 が日本の事業に参画する に入ってコミュニケーシ ル施設に投資する際、間 に入ることで交渉がしや があるまま話が進んでい なくなり、気が付いたら ことも増えたが、日本で、 になると思う。外資企業 て英語でコミュニケーシ 大江 最近の流れでい 今の時代に求めら どを行った。 20人で、年内にフルタイ 見てもそう。建設は大き ライアンスを含めると約 我々の仕事は意義がある きな影響を及ぼすため、 な投資であり、経営に大 い。これはグローバルに び付ける会社は存在しな の解決としてアプローチ 企業のトップに経営課題 作りたいと思っている。 コンサルティング会社を うと、建設業界で唯一の 務を拡大していきたい。 れたので、この状態で業 せずに事業拡大を進めら ムのメンバーが4人にな る。1年目から資金調達 と思う。今メンバーはア し、建設とビジネスを結

0 5

商業施設新聞

(聞き手・編集長 高橋